

# 令和2年度 事業報告

## [法人・北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎・グループホーム紅愛の運営]

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、法人創立60周年記念事業の旅行や職員研修及び式典を中止とした。
- ・市内の法人と共同開催した「お祭り」も中止となった。
- ・利用者及び職員へ外出自粛、帰省、面会の自粛をお願いする中、焼き肉パーティーや忘年会・新年会を実施した。
- ・職員の提案により、塗り絵、麻雀、ゲーム等の利用者の余暇時間の充実を図り、自粛中での欲求不満の解消に努めた結果、相互の交流が図れた。
- ・地域共生社会の実現の一助となるために実施している共同募金などは、施設職員が募金の呼びかけを行った。
- ・献血も年2回実施した。

## [就労支援事業]

- ・就労支援事業収入は、前年実績と比し、約3,100万円の減額となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、作業量が減少したが前年対比89%に留まった。

## [利用者工賃実績]

- ・就労支援B型事業は新型コロナウイルス感染症の影響で作業量が減少したが、ほぼ毎日、短時間でも就労の機会があり、年間平均工賃45,000円以上となった。

## [施設の改修]

- ・水道料金増加に伴い、調査した結果、漏水箇所があり漏水補修工事を実施した。
- ・老朽化に伴い、浴室入口床置きマット取替工事を行った。
- ・新型コロナウイルス対策とし、対面接触を減らすため、非接触型検温器を購入し設置した。
- ・夜間の交通事故防止及び防犯のため駐車場照明設備設置工事を行った。
- ・ニュー北海道博愛舎支援員増員に伴い、環境改善のため支援員室の拡張工事を行った。

## [北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎 利用者の状況と対応]

- ・両施設の利用者の高齢化、障害の重度化が顕著となっている。
  - ・利用者がコロナ過で自粛の中でも不満解消ができるよう、施設内行事の実施及び職員が余暇活動の実施等を行った。
  - ・市町村や相談支援事業等の連携を取りながら、利用希望者の情報収集や勧誘に努めている。
- 今年度新規入所者が北海道博愛舎1名、ニュー北海道博愛舎2名おりましたが、まだ定員割れが続いている。

## [行事实施状況]

年月	行事内容
R2 6月～	利用者との散歩、ゲーム、塗り絵、麻雀等
7月	夕張市農協青年部メロン贈呈
8月	ジンギスカンパーティー 定期健康診断
9月	避難訓練
10月	インフルエンザワクチン接種 日赤献血 共同募金
12月	利用者食事会（忘年会） 歳末助け合い募金
R3 1月	利用者新年会
2月	定期健康診断 避難訓練
その他	毎月第3水曜日 利用者誕生会 毎月第3・4日曜日 利用者理容日

## [職員研修実施状況]

年月	研修内容	参加数
R2 7月	新型コロナウイルス感染拡大防止研修会	2名
9月	介護職員専門研修Ⅱ 新任介護職員研修	1名 1名
10月	安全運転管理者講習会 サービス管理責任者研修（リモート）	1名 1名
R3 2月	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修（リモート）	2名